

- 1 開催日時 平成16年2月24日(火)
午後2時~午後4時20分
- 2 開催場所 宇都宮市役所 議会第1委員会室
- 3 出席委員 15名
大竹委員長, 齋藤副委員長, 伴委員, 廣田委員, 橋本委員
四宮委員, 三村委員, 鶴見委員, 石原委員, 遠藤委員
梅園委員, 半貫委員, 熊本委員, 荒川委員, 諏訪委員

4 会議の公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 0名

6 議事

(1) 報告事項

平成15年度全国社会教育研究大会について
平成16年宇都宮市成人式について
子どもの読書活動推進計画について
平成16年度図書館の運営目標について
平成16年度視聴覚ライブラリーの運営目標について

(2) 協議事項

平成16年度社会教育の基本方針及び重点事業について
平成16年度文化行政の基本方針及び重点事業について
平成16年度社会教育関係団体に対する補助について

7 発言の要旨

大竹委員長	会議次第に基づき, 議事を進めてまいります。 報告事項 「平成15年度全国社会教育研究大会について」を事務局及び参加された四宮委員・半貫委員から報告をお願いします。
	〔事務局・四宮委員・半貫委員説明〕
大竹委員長	ただいまの報告について, お聞きしたいことがあればお願いします。
大竹委員長	この件については以上でよろしいでしょうか。
一同	異議なし。

大竹委員長	<p>報告事項 「平成 16 年宇都宮市成人式の結果について」事務局から説明願います。</p> <p>〔事務局説明〕</p>
大竹委員長	<p>ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。</p>
遠藤委員	<p>中学校区ごと（21 会場）で開催するのは比較的うまくいきやすい方法だと思うが、開催方法等について事務局はどのような評価をしているのか。また、来賓としてどのような方をお呼びしているのか。</p>
事務局	<p>中学校区ごとに行くと、参加者が 100 名から 300 名ぐらいになり、ホテル・結婚式場はちょうどよい大きさの会場になります。アンケート結果を見ても、1 月の寒い時期であり、暖房設備のない中学校の体育館で行うより好評です。また、今年から記念事業を充実させるということで、「お世話になった人に感謝の手紙を書こう」など、各会場でさまざまな取り組みが行われ、たいへん好評だったと聞いています。このような取り組みを通して、地域で成人を祝うという趣旨にあった成人式になりつつあると考えています。</p> <p>来賓につきましては、市長招待として市議会議員等、地域招待として自治会長や中学生当時の恩師等を招待しているようです。</p>
四宮委員	<p>記念事業を充実させたとのことだが、事業の内容等はどのような場で決めているのか。</p>
事務局	<p>中学校区ごとに新成人も加わった成人式実施委員会を組織し、その中で事業の内容等を決めています。</p>
大竹委員長	<p>この件については、以上でよろしいですか。</p>
一同	<p>異議なし。</p>
大竹委員長	<p>報告事項 「子どもの読書活動推進計画について」事務局から説明願います。</p> <p>〔事務局説明〕</p>
大竹委員長	<p>ただいま説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。</p>
石原委員	<p>資料の中で、家庭での読み聞かせの実践は非常に高い数字になっている</p>

が、どのくらいの子どもを持っている保護者が対象なのか。

事務局 幼稚園・保育園にお願いし、5歳から就学前の子どもがいる保護者に調査をかけたものです。

石原委員 小学校低学年は含まれていないのか。

事務局 小学生は、本人に読書量については聞いていますが、保護者には調査しておりません。

遠藤委員 ホームページで県の同様の調査結果を見たが、子どもたちの読書量は、県全体より宇都宮市のほうがよい結果が出ている。これは、宇都宮市の図書館等へのアクセスなどが子どもたちのニーズにより合っているからだと思う。しかし、全国平均よりは低い数字が出ているということは、これからの公立図書館や学校図書館の充実整備が課題である。

この計画には、計画を達成するにあたっての予算的なものは入らないのか。

事務局 この計画は、あくまでも推進の基本計画的な性格のものです。5年の計画期間ですので、今後、この計画に沿った事業を具体化し、予算化していきたいと考えています。

遠藤委員 国全体の水準に早く追いつくような推進をお願いしたい。

学校での朝の読書活動が、ここ数年非常な勢いで広まっている。朝の10分間、先生と生徒がそれぞれ自分の好きな本を読むことで、学級が落ち着いてくるといった効果がある。また、学校では、先生方が朝の勤務時間外で読書活動に対応するなど、たいへんな努力をしている。

荒川委員 子どもの読書活動の推進には、特に学校図書館における読書活動が大切であると考えている。資料の中で、学校図書館の人的な整備が十分でないとの現状認識があるが、学校図書館における司書教諭の専任化等が視野に入った計画になるのかどうかお聞きしたい。

事務局 基本方針に「市図書館と学校図書館を核とした読書活動の推進」とあるように、学校図書館もひとつの軸とした推進を考えています。文言としてどこまで入れられるかという問題はありますが、学校図書館の問題も視野に入れた中での施策事業を考えています。

半貫委員 1か月の読書量が本の冊数になっているが、時間にするとどのくらいになるという数字はあるのか。読む本の種類などによっては、冊数では計れ

ないものがあり，それによって対策のたて方や計画の方向性が変わってく
ると思う。

橋本委員 読書量の調査は，どのような種類の本を対象にしているのか。

事務局 今回，読書時間の調査は行っておりません。また，本の種類は，マンガ・
雑誌等を除いたものということで回答をもらっております。

半貫委員 これは，子どもたちにもっと本を読ませるための計画だと思うので，読
書に要している時間なども調べないと，全体の読書像が見えてこないの
ではないか。また，どこまでの世代を対象にすべきかなどの方向性もでて
こないのではないか。

事務局 子どもたちに読書の面白さが伝えられるよう，ハード・ソフト両面で子
どものライフステージに合わせた読書推進の計画をつくり，施策事業に反
映させていきたいと考えています。

梅園委員 学校での朝の読書活動が広まっていることは，非常によいことだと思
う。本の面白さを知ってもらう活動を地道にしていくことも解決策のひとつ
であることから，各学校に学校図書館専任の職員がいないのは問題だと思
う。予算的な制約はあると思うが，ぜひ専任の職員を置くようにしてほしい。

四宮委員 乳幼児への読み聞かせが大切だと考えている保護者がほとんどのよう
だが，大人の読書活動はできているのか。子どもの読書離れ傾向が進んで
いると言われているが，大人がしっかりできていれば解決することではな
いのか。

事務局 青少年の健全育成を図るひとつの方法として，子どもの読書活動を推進
しようということで，現在，計画の策定を進めています。また，子どもの
読書活動を推進するためには，大人が本を読む姿勢を子どもに見せるこ
とが重要だと考えていますが，大人の不読率も高い現状にありますので，大
人に対する啓発も計画の中に盛り込んでいきたいと思ます。

遠藤委員 子ども読書活動の推進をどこまでやればいいのか。ということだが，
私たち大人は，日常の経験から読書のよさを知ってきたので，私たちの後
に続く子どもたちにも，本を読むことによって自分で考える力などを得て
もらいたいということだと思。

齋藤委員 読書が良いことだというのは当然のことなので，子どもたちがよい本を
より多く読めるような計画になるよう期待している。

大竹委員長 この件については、以上でよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

大竹委員長 報告事項 「平成 16 年度図書館の運営目標について」事務局から説明願
います。

 〔事務局説明〕

大竹委員長 ただいま説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

石原委員 図書館の蔵書に不明本が増えているように感じるがどうか。

事務局 毎年蔵書点検をすると、かなりの数の不明本が出ているのは事実です。
不明本を少なくするために、新刊本はカウンターの近くに置くなど工夫を
していますが、今後は、さらに効果のあがる対策を講じていきたいと考
えています。

鶴見委員 読み聞かせボランティアの活動内容について教えてほしい。
小学校高学年まで読み聞かせを実施している状況があるようだが、高学
年になれば、自分で興味・関心のある本を選べるのではないか。低学年か
ら高学年まで一律に実施することには疑問がある。

事務局 学校からの依頼による読み聞かせ、図書館においての週 2 回の読み聞か
せを実施しています。
学校での読み聞かせについては、各学校の意向に沿ったかたちでプログ
ラムを組んでいます。たとえば、高学年の子どもが低学年の子どもに読み
聞かせをするなど、各学校でいろいろ工夫して実施をしているようです。

鶴見委員 子どもたちが自分で本を選べるよう工夫して実施しているところはよい
のだが、そうでないところもあると聞いているので、さらに子どもの読書
意欲を高めるようなかたちで読み聞かせを実施できるようお願いしたい。

大竹委員長 この件については、以上でよろしいでしょうか。

大竹委員長 報告事項 「平成 16 年度視聴覚ライブラリーの運営目標について」事務
局から説明願います。

 〔事務局説明〕

大竹委員長	ただいま説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。
大竹委員長	この件については、よろしいでしょうか。
一同	異議なし。
大竹委員長	協議事項に入ります。 「平成 16 年度社会教育の基本方針及び重点事業について」と 「平成 16 年度文化行政の基本方針及び重点事業について」は 関連がありますので、一括して議題とします。事務局から説明願います。 〔事務局説明〕
大竹委員長	説明が終わりました。ご意見・ご質問をお願いします。
諏訪委員	平成 16 年度文化行政の基本方針及び重点事業について、文化振興基本計画を策定するということだが、どういう骨格で策定するのか。
事務局	文化振興基本法・宇都宮市教育ビジョン等に基づき、本市の文化振興のあり方を事業展開も含めて検討していきたいと考えています。 16 年度に策定懇談会を設置し、実際に文化活動をしている方々の意見を尊重して策定したいと考えています。
諏訪委員	実際に文化活動をしている人たちに話を聞くと、やはり活動資金の面の心配が大きい。たとえば、文化事業に対して多くの市民からカンパを募り文化振興の財源にするなどの方法も考えられると思うが、そのあたりの考え方をお聞きしたい。
事務局	行政が直接資金を出すのではなく、国の文化振興基金のような仕組みは重要だと考えています。基本計画の中でも、そのような仕組みづくりについて、十分に検討していきたいと考えています。
諏訪委員	基金等を設立するのであれば、たとえば、基金に寄付をした人には市民税の減免をするなど、積極的な推進を図らなければ定着していかないと思う。
事務局	文化活動は、地域の活性化と密接につながっています。委員ご指摘のとおり、この計画は文化課だけでなく、宇都宮市全体として取り組む必要があると認識しております。

橋本委員	<p>文化活動をするにあたって学校等にあまり協力を得られない場合がある。計画策定には、教育委員会内でもよく話し合っしてほしい。</p> <p>平成 16 年度社会教育の基本方針及び重点事業について、子どものホームステイ体験事業ですが、地区内の子どもを地区内の家庭にホームステイさせるのはおかしいのではないかと。たとえば、都市部の子どもを農村部に行かせるなどの方法はとれないのか。</p>
事務局	<p>子どものホームステイ体験事業は、たくましい宮っこを地域ぐるみで育てるといふ趣旨で実施しています。この事業をすることによって、地域内の大人と子ども、また、大人同士が知り合えるという効果がありますので、16 年度も地域内で実施していただきたいと考えています。</p>
四宮委員	<p>子どものホームステイ体験事業は、あまり枠を決めず、地域の特性を生かして実施できるよう柔軟に対応してほしい。</p> <p>地域が実施する少年ふるさと教室に対しての生涯学習課のかかわり方、市民大学の参加者数と受講料、また、たくましい宮っ子育成推進事業は具体的にどのようなことを考えているのか教えてほしい。</p> <p>文化行政の中で、文化会館の延命工事とあるが、改修工事という標記でよいのではないかと。また、文化会館は音楽関係者に非常に評判がよいと聞いているので、その特性を生かした運営を考えていただきたい。</p>
事務局	<p>子どものホームステイ体験事業については、15 年度よりもさらに柔軟に実施できるよう考えております。また、たくましい宮っ子育成推進事業については、これは子どもフェスタのことですが、16 年度事業については、現在、青少年課と話し合いを持って検討しているところです。</p> <p>少年ふるさと教室については、生涯学習事業ということで予算を確保して自治振興課から地域に委託し、実施されています。また、市民大学については、14 年度まで 1 時間 150 円の受講料を 15 年度からは 1 時間 200 円としています。受講者数については、内容によっては定員よりかなりオーバーする場合がありますが、現代的課題といわれている家族・子育て等の講座は定員割れする場合がありますので、開催時間等も検討しながら実施していきたいと考えています。</p> <p>文化会館については、暫定的に安全確保の工事をするということで、延命工事という言葉を使っています。</p>
齋藤委員	<p>平成 16 年度社会教育の基本方針及び重点事業について、基本方針は本市の社会教育の姿勢を示す重要なところなので、「特に 21 世紀を担う「人づくりの」観点から、子どもを対象とした事業や、学習機会の拡大に資する事業及び現代的課題に対応するための事業の拡充に努める。」を「特に 21 世紀を担う「人づくり」「まちづくり」のための社会教育力の充実発展の観</p>

点から、「……」に変えて、社会のニーズとして必要な事業を実施していくんだという表現にしたいと考えるがどうか。

遠藤委員　子どもたちを対象とした事業などは、社会教育の面と文化行政の面それぞれで計画されていると思うが、両面一体となった推進が必要ではないか。

事務局　生涯学習課と文化課とで連携をとった推進を、必要に応じて進めていきたいと思います。

鶴見委員　幼児と親を対象にした事業がまだまだ少ないと思う。みんなが集まってくることで、若い母親たちのコミュニケーションや社会性の維持が図れたり、母親が学習することで、子どもに何か起こったときでもすぐに対応できるようになる。

事務局　生涯学習センター事業の基本方針に、家庭教育に関する学級・講座の充実を一番に位置づけておりますので、その中で、幼児期からの家庭の教育力の向上を図っていきたくて考えています。

大竹委員長　他にないようですので、齋藤委員の提案のとおり、基本方針の文章を変更することとして、事務局提案のとおりとしてよろしいでしょうか。

一同　異議なし。

大竹委員長　それでは、そのようにさせていただきます。

大竹委員長　協議事項「平成16年度社会教育関係団体に対する補助について」事務局から説明願います。

〔事務局説明〕

大竹委員長　説明が終わりました。ご意見・ご質問をお願いします。

遠藤委員　補助金の算定と監査の方法について教えてほしい。

事務局　補助金の算定は、宇都宮市社会教育関係団体補助金交付要綱及び宇都宮市社会教育関係団体補助金補助基準に基づき、事業費の3分の1としています。また、行政の監査は、監査委員による定例監査の中で行っており、各団体については、収支決算書を提出させています。

大竹委員長　他にご意見がなければ、事務局提案のとおりとしてよろしいでしょうか。

一同

異議なし。

大竹委員長

異議ありませんので、そのようにいたします。

大竹委員長

その他に入りますが、何かありますか。

ないようですので、これをもちまして、本日の会議を終了いたします。
長時間にわたりご審議をいただき、ありがとうございました。